

平成23年市政10大ニュース

鳥取市の平成23年はどんな年だったでしょうか？

市民のみなさんに関わりの深い市政に関する出来事の中から、自治会や文化、福祉、教育、経済界などでご活躍中の代表者、マスコミ関係者、市議会議長、市長の12人が平成23年市政10大ニュースを選考しました。

問い合わせ先 本庁舎秘書課広報室 ☎ 0857-20-3159

1位 新庁舎建設基本方針、基本計画（素案）が発表され、住民投票実施の検討はじまる



3月に「新庁舎建設に関する基本方針」を決定。8月に「市庁舎新築移転を問う市民の会」が約5万人の署名とともに住民投票条例制定を直接請求されましたが、市議会臨時会で否決。10月には建設候補地を旧市立病院跡地とする「鳥取市新庁舎建設基本計画（素案）」を発表しました。

現在、市議会では「鳥取市庁舎整備に関する住民投票条例検討会」を設置し、議員提案での住民投票条例の制定をめざしています。

2位 天皇皇后両陛下ご臨席のもと「第31回全国豊かな海づくり大会」を開催

天皇皇后両陛下ご臨席のもと、10月29日、30日に「第31回全国豊かな海づくり大会鳥取大会」を本市で盛大に開催。東日本大震災からの復興を祈念し、全国各地の豊かな海づくりを推進した大会として成功裏に終了しました。

また、両陛下は31日まで地方事情視察のため本市にご滞在され、30日には市役所をご訪問。両陛下と竹内市長、中西市議会議長をはじめとする関係者らによるご会食が行われました。



3位 三洋電機CEの事業再編などに伴う深刻な雇用問題への対応と新たな雇用の創出



三洋電機CE（株）の従業員、県外への配置転換や早期退職者の募集などにより、地域の雇用情勢が深刻となる中、労働局、県と連携し地元就職支援に係る雇用対策を新卒者や従来からの失業者を含めて幅広く実施しました。

また、鳥取市雇用創造戦略方針の一環である「若葉台地区スマート・グリッド・タウン実証事業」を県下で初めて実施。環境・エネルギー関連分野の成長産業による雇用創出が本格的にスタートしました。

